

# 平成23年度 学校経営方針

## 学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

### めざす児童像

- やさしい子  
美しいものに感動し、友達やまわりの人の心も考えながら、やさしさをことばや態度や表情であらわして生活できる子
- つくりだす子  
自分でめあてをつくり、それに向けてよく見たり、聞いたり、考えたりしながら自力で問題を解決していく子
- たくましい子  
自分の心と体を健康にするために、自分の生活を見直し、何事にもがんばる子

### めざす教師像

- 基礎・基本の確実な習得と、生涯を通して生きる力を育てる教師
- なかよく助け合うことの大切さと、奉仕の心を感得させる教師
- 常に危機管理意識を持ち、子どもの安全管理・指導に努める教師
- 教育に対する情熱と豊かな発想を持ち、専門職としての識見と指導力を高める教師

## 本年度の重点目標

知・徳・体のバランスのとれた教育の推進による、「響き合える」児童の育成

確かな学力づくり	豊かな心づくり	健やかな体づくり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導の充実と基礎・基本の定着</li> <li>・操作・体験活動、課題解決学習の重視と言語活動の充実による思考力、判断力、表現力の育成</li> <li>・読書活動の充実と寛学の実施</li> <li>・外国語活動の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育の推進による規範意識の育成</li> <li>・家庭・地域と連携したあいさつ運動と清掃活動の実施</li> <li>・体験的地域学習の推進</li> <li>・人権意識を高める学級経営・集団づくりによる自尊感情の育成</li> <li>・特別支援教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進</li> <li>・基本的な生活習慣の確立</li> <li>・「マイ・ランチの日」の設定と体験型の食育指導</li> <li>・体育学習の充実とロングの昼休みによる体力・運動能力の向上</li> <li>・安全管理能力の育成</li> </ul>
<p>一人一人に自己存在感、自己肯定感をもたせる生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリングマインドの心で児童理解に努め、個を生かす</li> <li>・児童と教師、児童相互の人間関係づくりと心の居場所づくりに努める</li> <li>・「古高っ子のちかい」をもとに、安全への自己意識を確立する</li> <li>・問題行動・いじめの未然防止と早期解決に向け、組織的に対応できる体制づくりをする</li> </ul>		

### 家庭・地域との連携による信頼される学校づくり

- 積極的な情報発信と説明責任
- 保護者アンケートや学校関係者評価を取り入れた学校運営
- 地域コミュニティとの連携強化
- 安全体制づくり

- (1) わかる授業により「確かな学力」を育成する
- ・指導内容に応じてTT指導や課題別・習熟度別の指導形態を工夫する少人数指導の充実に努め、基礎・基本の確実な定着と学力の向上を図る授業づくりに取り組む。
  - ・操作活動や体験活動を重視し、課題解決学習を積極的に取り入れることにより、思考力、判断力、表現力を育む。その基盤となる言語の能力の育成を目的として、国語科を中心に各教科において言語活動を位置づけて指導する。
  - ・朝の読書や読書月間の実施、学校図書館指導員や読書ボランティアによる読み聞かせ等により、読書に親しむ態度を育て読書習慣の確立を図る。また、キャリア教育の視点から一斉読書等に「寛学」（菊池寛等の作品を読む時間）を位置づけ、自らの夢をはぐくみ、志を高くもとうとする児童を育成する。
  - ・外国語活動の充実にめざして、協働体制で教材づくりや授業実践を行い、教師の指導力の向上を図る。
- (2) 体験を基盤としたかかわりにより、「豊かな心」を育成する
- ・道徳の授業の充実にともに、「道徳の日」や「ありがとうの日」の設定等により、道徳教育をさらに推進し、規範意識をはじめ生命を尊重する心や思いやりの心を育む。
  - ・家庭や地域と連携しながら、心を磨く「スマイルあいさつ運動」や「ぴかぴかデー」を実施する。
  - ・体験を通してふるさとの人や自然・文化を学ぶ地域学習に積極的に取り組むことで、感性を磨くとともに、郷土に対する誇りを醸成する。
  - ・個々の個性や技能を発揮する委員会活動やボランティア活動（古っ子コアラ隊活動）を通して、自分の役割の自覚や奉仕の精神を育む。
- (3) 自他を尊重する学級・学年集団づくりにより、「人権意識」を育成する
- ・人権意識を高める学級経営に努め、支え合い、高め合う学習集団づくりを通して自尊感情を高める。
  - ・人権尊重の基本である他者理解を実践する意欲や態度を育てる。
  - ・個々の児童の支援計画策定と特別支援教育の推進を基盤にして、障害者理解に立った教育を進める。
- (4) 体力づくりや健康・安全教育の推進により、「健やかな体」を育成する
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、生活リズムの確立と基本的な生活習慣の定着化を図る。
  - ・「マイ・ランチの日」の設定などの食育の推進により、望ましい食習慣を育む。
  - ・体育学習の充実にともに、外遊びの奨励やロングの昼休みの活用により、体力・運動能力の向上をめざす実践力の育成を図る。
  - ・「自分の命は自分で守る」ことの必要な事柄を実践的に理解し、自他の安全を確保する能力や態度を育てる。
- (5) 家庭・地域との連携を通して、信頼される学校づくりに努める
- ・学校・学年だより、道徳だより、ホームページ等による積極的な情報発信により、説明責任を果たす。
  - ・アンケート調査や学校評価の実施と結果の公表を通して学校運営の改善を図る。
  - ・地域の人材活用や交流活動を通して、地域コミュニティとの連携を強化する。
  - ・PTA連絡システムの有効活用や地域安全パトロール等との連携を通して防犯対策を強化する。